R7年度 グランドデザイン

つくばみらい市立小絹小学校

本県教育の目標

〇ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
〇じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
〇郷土を愛し　協力しあう心を育てる

活力があり、県民が日本一幸せな県
～すべての子どもの可能性を
引き出す活力ある学校づくり～

学校教育目標

自分のよさや可能性を見出し、主体的な態度がはぐくまれる児童の育成

目指す児童像

〇自ら学び深く考える子　（知）
〇思いやりがあり助け合う子　（徳）
〇進んで働く元気な子　（体）

目指す学校像	目指す教師像
・主体的な態度が育まれる学校	・全ての子どものよさや可能性を見出せる教師
・子どもが安心して学べる学校	・やる気を引き出すことができ指導力のある教師
・家庭や地域に開かれた学校	・活力に満ち、研鑽に励む教師

つくばみらい市学校教育指導方針

新しいみらいしあわせ実感教育のまち
～子どもたちが幸せな未来を
送るための学校教育～

つくばみらい市学校教育目標
①個性と創造性に富み、確かな学力を身につけた”みらい”の子を育てる。
②グローバルな視野をもち、郷土愛に満ちた”みらい”の子を育てる。
③心身ともに健康で、自他を大切にできる”みらい”の子を育てる。

学　校　経　営　方　針

全員の子どもたちが「小絹小が大好き！」と言える学校を目指す

令和７年度の小絹小学校スローガン

大好きです！　小絹小学校！
“あいさつ”と“やさしさ”と“黙働清掃”で笑顔と感動があふれる学校をめざして

①あいさつ・・小絹小のあいさつ（「あかるく」「いつも」「さきに」「つづける」）を継続してできる。
②やさしさ・・１日１回、やさしい行動（友達・家族・地域・ものに対して）ができる。
③黙働清掃・・限られた１２分間を黙って集中して清掃することができる。
④笑　　顔・・１日１回、学校生活の楽しい時間の中で、笑顔をつくることができる。
⑤感　　動・・１週間に１回、心が動かされる素敵な出来事を体験することができる。

組　織　目　標

〇自分の考えをもち、探究的に学ぶことができる児童の育成　〇自分のよさや可能性を見出し、お互いを認め合う児童の育成

学校教育目標の実現に向けた教育課程の編成

知：よく学ぶ子ども（確かな学力の育成）

◇授業を知的に楽しくできる授業改善
- 「教わる」から「学ぶ」への授業改善
- インプットを重視しながら、アウトプットの積極的な実践を意識した授業

◇探究的な学びを意識した授業改善
- 課題の発見→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返りの授業実践
- 生徒指導を一体化させた授業づくり

◇グローバル人財の育成のための教育
- 特別の教育課程（英語活動）の推進
- 積極的なプログラミング教育の実践

◇ICTの効果的な活用方法と検証
- タブレット端末の有効的活用の実践

◎年間５０冊読破できる児童　６０％
◎探究的な学びができる児童　９０％

徳：心豊かな子ども（豊かな心の育成）

◇子どもたちのよさや可能性を見出すための学級づくりの実践
- 積極的称賛（５S言葉）や自己肯定感、特別支援教育の視点による指導の充実

◇元気な返事やあいさつの励行
- 小絹小のあいさつ（「明るく」「いつも」「さきに」「続ける」）の継続的な実践

◇やさしさを行動で示すための実践
- 人や物に対するやさしさの意識向上

◇伝統ある黙働清掃の積極的な実践
- 静かに集中して掃除する心の育成

◇キャリア教育推進のための活動の充実
- 町探検や文化的体験、稲作体験の実践

◎小絹小のあいさつができる児童　１００％
◎小絹小が大好きと言える児童　１００％

体：たくましい子ども（健やかな身体の育成）

◇運動量を重視した体育の授業実践
- 豊富な運動量を確保した授業の実践
- チームプレーやフェアプレーを称賛し、肯定的なフィードバックの実践

◇集団行動を取り入れた体力作りの奨励
- 学年に応じた集団行動の育成

◇健康管理を意識した保健指導の充実
- 歯磨きタイムによる虫歯予防の励行
- 外部指導者による性教育や睡眠指導の充実

◇安心・安全な教育環境づくり
- 学年に応じた交通安全教室
- 栄養教諭や給食センターの食育指導
- 様々な想定での避難訓練や防災教育

◎体力テストＡ＋Ｂの割合の児童　５５％
◎１日３食きちんと食べる児童　９０％

地域とともにある学校づくりの推進

和：開かれた学校づくり（地域・保護者との連携）

◇地域や保護者に開かれた学校づくり
- 積極的なＰＴＡ活動の推進や地域団体との交流や連携
- 情報の収集と発信の充実（スクリレ・ホームページ）

◇学校評価の効果的活用
- 学校評価アンケートの実施と評価結果の家庭や地域への発信

◇小絹小中一貫教育及び保幼小接続のための交流活動

◇学校運営協議会（CS）と地域学校協働活動の推進の充実
- 小絹小中学校による合同協議会の運営及び協力体制の確立

信：安全・安心な環境づくり（危機管理）

◇安全・安心な教育環境整備
- 定期的な安全点検による施設設備に対する管理体制の充実
- ”危機管理のさしすせそ”を意識した生徒指導の充実

◇交通安全を図るための連携
- 保護者や地域ボランティアとの連携による通学路の安全確保

◇潤いのある環境づくり
- 人権や多様化に配慮した環境づくりの推進
- 学校美化を意識した校舎内の掲示物や学校花壇の整備

教職員の資質向上

◆やりがいや働きがいを実感できる教員評価人事評価、チャンス面談の実施
◆研究テーマ「自分の考えをもち探求的に学ぶことができる児童の育成」の校内研修
◆ICT機器活用指導力向上のための研修（グローバル社会に対応した人づくり）

働き方改革の推進

◆超過在校等時間の徹底と適切な管理
（目標：超過在校等時間の月平均３５時間以内）
◆話しやすい職場の雰囲気づくりの推進
◆計画的な年休取得などワークライフバランスを意識した教職員のパフォーマンス向上
◆時差出勤の積極的な活用及び推進

服務規律の確保

◆「自分事として考える」「個人・組織での行動へ」を意識したよりよい職場環境づくり
◆「たいせつです運動」の推進、「One IBARAKI」「コンプライアンスカード」の活用
◆スピード感のある初期対応の徹底やボトムアップ型研修を中心とした校内研修の推進